



さくら



校訓「ほんきで なかよく きまりよく」【学校創立149年・地域に支えられ、がんばる桑っ子】

学校教育目標「なかまとともに 学び合う 桑っ子」

重点目標「伝え合い 高め合う子」

【令和4年度全国学力学習状況調査】を終えて

5月に6年生を対象に実施しました「令和4年度 全国学力・学習状況調査」における桑村小学校の調査結果と、今後の取り組みについてお知らせいたします。

今回は、国語・算数・理科と生活状況の調査を行いました。

国語	算数	理科
◎	□	○

表の見方（全国比）

「◎」…高い 「○」…やや高い
「□」…ほぼ同じ 「△」…やや低い

全国的な平均を、国語は大きく上回りました。理科はやや上回り、算数は、ほぼ同程度でした。領域の結果は以下の通りです。

国語 (全14問)	領域別結果（国語）			
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴や使い方
○	◎	□	◎	

算数 (全16問)	領域別結果（算数）			
	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
◎	□	△	□	

理科 (全17問)	領域別結果（理科）			
	エネルギー	粒子	生命	地球
○	◎	□	□	

良好な結果でしたが、努力を要する事項として、次のような点があげられます。

国語

- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像する力
→物語を読んで、条件に合わせた推薦文を書く問題でしたが、登場人物の気持ちや相互関係を捉えることに課題があります。これからも、読書活動を推進していきたいと考えます。

算数

- ・百分率で表された割合を分数で表す力
→小数で答えたり、約分をしないで答えたりする解答がありました。
- ・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉えて考察する力
→お楽しみ会のアンケートの結果から2つの遊びを決める問題でした。「全員の希望が1つは通る」という条件の中、2つを捉えることができていない解答がありました。問題を正しく読み解くことに課題があります。

理科

- ・予想から得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつ力
→夜の気温の変化について、結果からいえることを提示された資料から正しく読み取れていませんでした。これについても、読解力の育成が大切であると考えます。

今後の継続した取り組み

国語	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを書く活動において、他者の考えを生かしてまとめたり、条件に合った内容でまとめたりするように指導します。 物語により親しみ、読解力を育成するために、読書活動を推進していきます。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 単位をつけたり約分をしたりするなど定着を図るために、授業や確認テストで問題文に対して求められる解答の仕方を指導していきます。 データの特徴を捉えられるように、学級活動や他教科などに関連させて指導していきます。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対して予想を立て、観察や実験などの事象から分析や考察していく授業を実践していきます。

生活や学習の様子について

全国学力学習状況調査では、学力面だけではなく、学校や家庭での生活・学習の様子についても調査しています。近年この調査を通して、子供たちの生活の様子と学力の状況に相関関係があることが明らかになっています。以下、主な項目についてお知らせします。

(R2年度は実施されませんでした。)

表の見方(全国比) 「◎」…高い 「○」…やや高い 「□」…ほぼ同じ 「△」…やや低い 「▲」…低い

質問内容	H31	R3	本年
朝食を毎日食べていますか	◎	△	◎
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	□	○	□
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	▲	▲	△
自分には、よいところがあると思いますか	◎	◎	◎
学校に行くのは楽しいと思いますか	○	◎	◎
将来の夢や目標を持っていますか	◎	○	◎
平日家でどのくらいの時間勉強をしますか(塾含む) ※1時間以上の値	▲	○	△
自分で計画を立てて勉強をしていますか	◎	△	○
平日家でどのくらい読書を読みますか(教科書・漫画・雑誌は除く) ※30分以上の値	□	◎	○
新聞を読んでいますか	△	◎	□
1日当たりどれくらいの時間ゲームをしますか ※2時間以上の値		◎※	◎※
5年生までに受けた授業で、ICT機器を使って授業をよくしていましたか	▲	◎	◎
今住んでいる地域の行事に参加していますか	◎	◎	▲
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか	▲	◎	◎

(※の評価は、2時間以上ゲームしている割合が全国と比較して多いという意味です)

生活や学習の状況について以下のような姿が浮かび上がってきます。

- 自己肯定感が高く、前向きに生活している児童が多くいます。
- 家庭でのゲーム時間が長く、勉強の時間が短い傾向があります。
- 起床時刻は、日によって差があります。

今後の継続した取り組み

- 一人一人に寄り添い、個に応じた支援・指導をしていきます。
- 養護教諭と連携し、食事・睡眠等の生活リズムを整える啓発をしていきます。
- ICT機器が学びを支える道具になるために、今後も積極的に活用していきます。
- 学校と家庭が連携し、これからも読書活動を推進していきます。

